

# 世界の水族館情報



▲ジャイアントケルプ水槽  
aquarium of giant kelp

## モンレー湾水族館 (Monterey Bay Aquarium)

アメリカ西海岸、サンフランシスコの南に位置するモンレー湾は、カリフォルニア寒流が流れ込み、巨大海藻のジャイアントケルプが繁る豊かな海です。この湾には岸近くから一気に3000m以上の深さに落ち込む海底谷があり、湾とその周辺は浅海、外洋、深海といったまったく異なる環境を備えています。湾内では、魚や貝だけでなく、ラッコやアシカ、アザラシも普通に見ることができます。また、湾の外からはマグロやサメなどの大型魚やクジラなどもやってきます。

1984年、このような豊かな環境の中に完成したモンレー湾水族館は、ジャイアントケルプの森を再現した水槽を中心に、オリジナリティーあふれる様々な手法で海の生き物たちを紹介し、世界中の水族館に驚きを与えました。

1996年には、「The Outer Bay」(ジ・アウトター・ベイ)というタイトルで湾の外の生物を紹介する展示を増設し、マグロやマンボウなどの外洋性魚類やクラゲの展示が見る人を感動させました。また、1999年からは、3年間の期間限定展示ですが、「Mysteries of the Deep」(ミステリーズ・オブ・ザ・ディープ)と題した深海の特別展示も開設し、深海魚をはじめ、深海性のエビ、イソギンチャク、ホヤの仲間など、飼育の難しい生物を展示しています。

モンレー湾水族館は、生物の展示だけでなく、研究活動、環境保全活動、教育プログラムも大変充実しており、世界の



▲ミステリーズ・オブ・ザ・ディープ  
"Mysteries of the Deep."

No.1水族館として注目を浴びています。

色あせず、時を経ることにますます充実していくモンレー湾水族館、これから先もますます楽しみです。  
(飼育展示課 広田 祐二)



▲調餌の様子  
preparing food for animals

TOPICS  
・アクアマリン探検隊！  
十、十一月の第二土曜日に、サタデースクール「アクアマリン探検隊」を開催しました。隊員は小学五・六年生、五十八名。「生き物たちがどのように育てられているのか？」を探るため、飼育の仕事を体験しながら、

飼育体験では、冷蔵庫や冷凍庫に入っている餌が保存されている様子を見学したり、実際に魚をさばって餌を作ったりしました。また、親潮大水槽の魚たちにアサリやエビなどの餌をあげ、魚が食べる様子を観察しました。その他にも、展示水槽の裏側やろ過槽を見学し、水族館の仕組みも探りました。初めての体験ばかりで、それぞれにいろいろな発見をしたり、生き物を育てる楽しさや苦労を実感したりできたようです。

今後一月や二月には、ウインタースクール(対象小学四～六年生)やサマースクール(対象高校生以上)を予定しています。皆様の参加をお待ちしています。  
(学習交流課 佐藤安岐子)

## TOPICS 見て、触れて、感じよう！ 移動水族館開催

福島県は、日本で二番目に大きな県で、南北約一二〇Km、東西約一六〇Kmにおよびます。水族館から離れた場所の方々に海洋生物を身近に観ていただき、生物やこれを取りまく環境について関心をもってもらうため移動水族館を開催しました。今年も、九月二十九・三十日に田島町中央公民館、十月六・七日に西郷村文化センター、十月二十一・二十二日に相馬海浜自然の家を会場として、熱帯性の魚類、無脊椎動物の水槽展示(水槽数最大十七台)、ウニやヒトデを手にとりて観察するタッチングプール、ゴマフアザラシなどの剥製や化石に触るコーナーを設け、自由に観



▲西郷村での移動水族館の様子  
a scene of the delivery aquarium by Aquamarine Fukushima

カ所合計で約五千三百名の方が会場を訪れました。タッチングプールでウニやヒトデに触った自閉症気味の生徒が小学校入学以来初めて作文を書いてくれたとある先生が涙を浮かべて感想文を持って来てくださったなど好評をいただきました。  
(学習交流課 古川 健)

覧していただきました。  
田島町および西郷村では町村内の全小学生在観覧に訪れた他、相馬市では養護学校の生徒が訪れるなど三